



稲盛和夫物語

思い続けることで夢をかなえた人

あ ら す じ

決して豊かとは言えない家に生まれた和夫は、親の仕事を熱心に手伝い、高校・大学と進学しました。就職した会社は傾きかけていましたが、「この会社を立て直すんだ！」という強い気持ちでファインセラミックスの研究に没頭します。開発方針で上司と対立した和夫は、応援してくれる人の後押しもあり、27歳で京都セラミックを立ち上げます。

「お金は天から降ってこない」と、従業員と共に良く働いたおかげで、アポロ計画の宇宙船に使う電子部品や、IBMから注文を受けるまでに成長。太陽電池の開発、セラミックを使った人工骨、小惑星探査機はやぶさにも使われた部品の制作を通じて宇宙開発にも貢献。また、一社独占だった電気通信事業に参入し、電話料金を安くすることができました。

利他の心を大切にする和夫は、「ここまで自分がやってこられたのは自分だけの力ではない、支えてくれた人たちがいるからこそだ」と、決しておごることなく、生涯「世のため人の為につくす」姿勢を貫きました。

DVDをより深く子どもたちが理解し、考える力をつけるために

視聴後に、簡単な声掛けや感想を書く事で、子どもたちの理解はより一層深まり、考える力が身に付きます。

- (1) 和夫は家の手伝いをよくしていたけれど、キミはどうか？
お手伝いしていることがあったら教えてね。
- (2) 和夫が入った会社はつぶれそうだった。
もしキミが働いた会社がつぶれそうだったら、どうする？
- (3) 和夫は目標にむかってがんばった。キミはどんなことにがんばっている？
- (4) キミは、将来どんなことをやりたい？
そして、それをやり遂げるためには何が大切だと思う？
- (5) 「私はこんな風に思った」「私はここが面白かった」など、
お友達と色々な話をしてみましょう。
また、おうちの人にもDVDで見たことを教えてあげましょう。

